

ピースサイクル

——下総基地の騒音・オスプレイを問う——

自転車で全国の人々と連なり平和・人権・環境保護を訴えているピースサイクルも今年で 33 年目。2019 年 7/12 下総基地への申し入れ（15：20～）& 鎌ヶ谷市役所への表敬訪問で市から回答を戴きお互いの意見交換をしました。

下総基地では監理幕僚との間で申し入れと問答。

航空機騒音については損害賠償の基準＝うるささ指数 75WECPNL を超す騒音を出し続ける現状（78～79W）を少しでも改善するよう要望。更に市との間で飛行時間などの協定を結ぶよう要請しました。監理幕僚からの回答では「協定を結ぼう」と言う市からの要望は全くないとのこと。



市民から市当局へ“騒音を軽減させるよう市が協定を結ぶよう努力してほしい”と要請しなければと思われました。

木更津駐屯地ヘリコプター団へのオスプレイ 17 機の暫定配備によって下総基地はどうか？と問えば「下総基地には何の情報もない」との答え。海上自衛隊と陸上自衛隊の違いがあると言っても習志野での落下傘部隊の練習時には下総基地を使って入間から C1 が来て飛んでいきます。中央即応集団の隷下に木更津のヘリコプター団も習志野の特殊部隊もあるのです。

「1982 年時の“米艦載機夜間離着陸訓練問題”（NLP）と同じように一回でも天候の様子でも絶対にオスプレイには下総基地を使用させない」と私たち市民の反対の意思を示してきました。残念ながら本当にオスプレイが下総基地に立ち寄ることもないのか私たちの不安・疑念を解消する回答はありませんでした。

鎌ヶ谷市役所での意見交換

市役所では①福島原発事故後の放射能に関する問題②東海第二原発の問題③再生エネルギーの地産地消④平和施策についてお伺いしました。



- ① 3・11 以降鎌ヶ谷市でも食品・給食の放射線量の検査を実施。不検出とのこと。甲状腺エコー検査は 23 名 28 名 19 名の受診実績。今後も実施するとのこと。
- ② 水戸市と鎌ヶ谷市との間で「原子力災害における水戸市民の県外広域避難に関する協定」（H30・10/31）を結んだが受け入れは 1988 人。受け入れ場所は県立鎌ヶ谷高校・西高校。具体策は今後検討するとのこと。又、協定は東海第二原発再稼働を条件としておこなうものではないとの説明。
- ③ 市民への太陽光発電・燃料電池システム等への補助金は継続して実施するが飯田市や小田原市の様な自治体発電・エネルギー構想の街づくりビジョンは持っていないとのこと。いち早く鎌ヶ谷市の街づくりの中に地域分散型のエネルギー構想を造っていくべきです（市長・議会での検討を要請します）
- ④ 平和施策として中学生の長崎への平和教育派遣事業が 3 年に 1 回（10 名）から 2 回（5 名×2）になったと言っていますが、毎年実施するよう市民から要請がありました。

“民主主義と自治そして平和主義 “ふじしろ政夫 047-445-9144

* 4/8 以降の活動報告をホームページに掲載

「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます